第三十一号議案

江戸川区東部フレンドホール条例の一部を改正する条例

右の議案を提出する。

平成二十六年二月十七日

提出者 江戸川区長 多田正見

江戸川区東部フレンドホール条例の一部を改正する条例

江戸川区東部フレンドホール条例（平成八年七月江戸川区条例第十八号）の一部を次のように改正する。

別表を次のように改める。

別表（第六条関係）

(一)

施設	区分	利用時間帯			
		午前の部	午後の部	夜間の部	全日
ホール	平日	八、一三〇円	一六、八七〇円	二二、〇九〇円	四六、〇九〇円
	土曜日、日曜日及び休日	九、七七〇円	二〇、二六〇円	二五、三〇〇円	五五、三三〇円
第一楽屋		五一〇円	五一〇円	五一〇円	一、五三〇円
第二楽屋		五一〇円	五一〇円	五一〇円	一、五三〇円
第三楽屋		七二〇円	七二〇円	七二〇円	二、一六〇円

(二)

種別	使用料（一時間単位）
----	------------

間を繰り上げ、又は繰り下げて利用することができる。この場合においては、次の区分による超過使用料を追徴する。

イ 正午から午後一時まで 午前の部の規定使用料の一時間相当額（この額に百円未満の額があるときは、その百円未満の額を百円として計算した額とする。以下同じ。）

ロ 午後四時三十分から午後五時三十分まで 午後の部の規定使用料の一時間相当額

四 各利用時間帯は、継続して利用することができる。この場合においては、それぞれの中間時間に係る料金を徴収しない。

五 利用者が舞台練習のため、舞台のみを利用する場合のホールの使用料は、規定使用料の五割とする。

六 利用者が入場料その他これに類する料金（以下「入場料等」という。）を徴収する場合は、次の区分による使用料を増徴する。

イ 入場料等の額（入場料等の額に差があるときは、その最高額。以下同じ。）が一、〇〇〇円を超え二、〇〇〇円以内のとき 規定使用料の五割相当額

ロ 入場料等の額が二、〇〇〇円を超え三、〇〇〇円以内のとき 規定使用料の七割五分相当額

ハ 入場料等の額が三、〇〇〇円を超えるととき 規定使用料の十割相当額

七 前号に該当する者が第三号又は第五号の規定の適用を受ける場合においては、第三号又は第五号中「規定使用料」とあるのは、「規定使用料に、第六号に定める増徴割合を乗じて得た額を加算した額」とする。

八 展示ギャラリーは、文化的活動、福祉的活動及びコミュニティ活動に利用するものとする。

九 集会室（第四）の利用は、土曜日、日曜日及び休日のみとする。

付 則

（施行期日）

1 この条例は、平成二十六年四月一日（以下「施行日」という。）から施行する。

（経過措置）

2 この条例による改正後の江戸川区東部フレンドホール条例別表の規定は、施行日以後に利用する者から適用し、同日前に利用する者及び同日前に既に利用の承認を受けている者については、なお従前の例による。

（説明）

要 消費税法（昭和六十三年法律第百八号）の改正に伴い、使用料の額を改める必
が あるので、本案を提出いたします。